

令和5年度 第2回 宇治市乳幼児教育・保育推進協議会
発達・子育て支援専門部会

日時：令和5年7月18日（火）

午後2時30分から

場所：宇治市役所

3階 301会議室

< 次第 >

- 1 開会
- 2 検討（課題に対する対応策の検討）
- 3 その他連絡事項
- 4 閉会

第1回発達・子育て支援専門部会（現状の把握、課題の抽出） 主な意見

1 人的な環境の課題

- (1) 保護者支援の難しさ
気になる点を伝えても響かない、伝わらない。保護者に対する多方面からのアプローチができる方法があればよい
- (2) （就学前施設）職員の人手不足
支援の必要な子どもに対し、その子のやりたいことをサポートできる体制が取れていない
- (3) 加配のない小学校に入学することに対する保護者の不安感
- (4) 療育施設の不足。療育施設の職員の人手不足
療育施設の敷居がもう少し低くなって広がってほしい
- (5) 就学前施設の職員が療育のスキルを培っていけるような仕組み
先生同士（他園の先生とも）のスキルの共有。必要な子に必要な支援ができる仕組み

2 制度的な環境の課題

- (1) 小学校において支援が必要な生徒に対し、一緒に授業を受けるなどの方法で支援する制度（教育サポーター）
- (2) 入園する前にあらかじめその子どもを見る機会があればよい
- (3) 気軽に、定期的に専門の方が来ていただけるような相談の仕組みがあればよい
- (4) 各園にアドバイザー的存在の必要性

3 関係機関等の連携・協働の課題

- (1) 他市町村からの転入や他市町村の就学前施設、療育施設に通園している子どもの情報が入ってこない、連携が取りづらい
- (2) 切れ目のない支援の仕方
小さい頃からその子ども知っている人がいればよい。核となる存在の必要性
- (3) 市町村同士の情報の共有。市町村を越えての連携

第二回発達・子育て専門部会

【前回の意見から】

- I. 実践現場の困り感を軽減し、理想の支援に近づいていくために、人材確保と人育成を両立し、国・地域を問わず好事例に学んでいくこと。
- II. 療育を受けて入学してきたこどもはスムーズな就学に繋がってるケースが多いことから、その理由を明確化し、取り入れていくための環境整備を行うこと。
- III. ステップセンターで予想していた困り感が、就学後に顕在化するケースがあることから、その理由を明確化し、就学相談等の際の参考にしていくこと。
- IV. その他各委員が気になった意見

【今回の論点】

1. 送る側の保幼小園におけるこどもの姿、園の意見と保護者の意向
 - 園の方針ならびに保育及び支援の方法・方向性とこどもの姿
 - 保護者支援の内容・方向性
 - 卒園後の支援
 - 地域との関係
 - その他
2. 受け入れ側の小学校におけるこどもの姿、学校の意見と保護者の意向
 - 登下校
 - 一般級、支援級、通級
 - 放課後の過ごし方
 - 地域との関係
 - その他
3. 発達支援を行う施設におけるこどもの姿、施設の意見と保護者の意向
 - こども支援の内容・方向性
 - 保護者支援の内容・方向性
 - 医療機関ならびに関係機関との連携
 - 地域との関係
 - その他
4. 宇治市の目指す発達・子育て支援
 - こどものしあわせをどのように考え、共創し、グランドデザインを描いていくか
 - こどもの姿を育み合う理想イメージ
 - 家庭環境・養育力の向上
 - こどもの友人、仲間、クラスの状況の把握ときめ細やかな支援
 - 各施設で支援できること、できないことの吟味と具体的な支援・連携内容
5. その他
 - キャリアアップ研修の適用について